

## 1 単元名 『「不便」の価値を見つめ直す』(1年 光村図書)

### 2 指導観

#### (1) 単元観

身の回りのありとあらゆるものが自動化され、私たちの生活は今現在も変化し続けている。技術の進歩によって「便利」になったことは間違いないが、一方で、自分で物事を考えなくなったとも言われている。「便利」が当たり前の中で育ってきた生徒たちにとって、『「不便でよかった。」と感じたことはないだろうか』という筆者の問いかけは非常に刺激的であり、今まで考えたこともない視点から考える経験が出来るという意味でも大変意義深い教材であると考え。また、利便性を追求する社会を「見つめ直す」ことは、筆者が述べる、「これまでの常識とは異なる別の視点をもつことで、世界をもっと多様にみることが出来る」態度にもつながる。未来の社会を担う生徒が、これまでにない着眼点を得て自らの生活を振り返ることで、これからの時代をよりよく生きるためのヒントを得させたい。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は、男子12名、女子14名、計26名である。自分の考えを積極的に発言する生徒が多く、授業中も活発に交流する姿が見られている。4月に実施した授業アンケートには「国語の勉強は好きですか」という質問に対し、「好き」もしくは「どちらかといえば好き」と答えた生徒の割合は、約67%と県平均や全国平均より高く、意欲的に学んでいる姿が読み取れる。しかし、6月に行われた福岡県学力調査の結果によると、「情報を相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることができる」という問題において、正答率が60.9%と、県平均に比べ、約10ポイント低かったことから、「書くこと」において課題があることがわかる。

また、生徒は2学期に、『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』の学習を通して「根拠・理由・主張」の3要素を含んだ文の方がより論理的であり、説得力も増すと言うことを学習している。しかし、どのような文章を書けば良いのかという「書く」という面においては、まだ不十分である。そのため、本活動を通して、「論理的に書く」とはどのようなことなのかを理解し、書き方の基礎を身につけてもらいたい。

#### (3) 指導観

本単元では、「B 書くこと ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」について指導していく。

本教材では、筆者はシステム工学の立場から、「不便」の価値を不便益と名付け、その魅力について語っている。生徒にとっては、共感できる場所もあれば、できない場所もあるだろうと思われる。そこで次のような活動を設定する。

- ① なぜ共感できるのか、なぜできないのかについて、ロジカルシンキングシートを元にポイントを整理する。
- ② 身の回りの「不便」について考え、「不便」の良い面と悪い面について文章にして書く。

身の回りの「便利」について考え、「便利」の良い面と悪い面について文章にして書く。

「不便」「便利」の双方から良い面と悪い面を捉えることによって、大量消費時代を生きる私たちにできることを考え、今後の生活に活かす視点を持てるようになってもらいたい。

### 3 目標

- ・ 作者の論の展開について理解することができる。(知識・技能)
- ・ 「不便」と「便利」の良い面と悪い面について、「根拠・理由・主張」の3要素を含んだ文を書くことができる。(思考・判断・表現)
- ・ 「便利」なものについて、自分の身の周りの生活から想起することができる。(学びに向かう力・人間性)

#### 4 単元指導計画(全4時間)

知識及び技能・・・[知] 思考力・判断力・表現力等・・・[思] 学びに向かう力・人間性等・・・[学]

時	主な学習活動	ねらいと具体的な支援	評価の観点(方法)
1	<p>1 文章全体を読み、筆者の主張を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の問いかけを読み取る。</li> <li>・「不便益」の3つの具体例に対して共感できるか考える。</li> </ul>	<p>筆者の主張に対して共感できるところとできないところを考えるを通して、主体的に本文を読めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ共感できるのかについて、生徒の体験に即して考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ共感できるのかについて、言葉にして説明することができる。</li> </ul> <p>[知]:ノート、発表</p>
2	<p>1 筆者が挙げる3つの具体例について、ロジカルシンキングシートを使って分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「根拠・理由・主張」の3要素が含まれているか考える。</li> <li>・どのような記述があればより説得力が増すのか考える。</li> </ul> <p>2 今や生活に欠かせない身の回りの「便利」なものについて具体例を挙げ、共通の話題を絞る。</p>	<p>ロジカルシンキングシートを使って具体例を分析することで、具体例にも「根拠・理由・主張」の3要素があった方が説得力が増すことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前単元で用いたロジカルシンキングシートを全体で振り返った上で考えさせる。</li> <li>・身の回りの「便利」なもの不可欠度についてピラミッドチャートを使って構造化し、それぞれ投票させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような記述があればより説得力が増すのか考え、説明することができる。</li> </ul> <p>[思]:学習プリント、発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「便利」なものについて身の周りの生活から想起することができる。</li> </ul> <p>[学]:ロイロノート</p>
3 (本時)	<p>1 インターネットについて、筆者が述べる視点(図1②)に沿って、2つのグループ(「便利」と「不便」)に分かれて分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットがあることで、何が便利なのか、またその良い面と悪い面について考える。</li> <li>・インターネットがないと、何が不便なのか、またその良い面と悪い面について考える。</li> </ul> <p>2 「便利」と「不便」のそれぞれの良い面と悪い面について、ロジカルシンキングシートを使って文章化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠に関しては、タブレットを使ってデータや調査結果を引用する。</li> </ul>	<p>自分たちで考えた「主張」について、「根拠」と「理由付け」を明らかにして文章にして説明することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットがあることで、恩恵を受ける一方でどのような悪い面が生じているのか考えさせる。</li> <li>・インターネットがなかったとしたら、どのような生活をしていたか想像させる。</li> <li>・文章を考える人、根拠を調べる人等、班の中で役割分担をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで主張を練り上げ、「根拠」と「理由付け」を明らかにした文章を書き、説明することができる。</li> </ul> <p>[思]:学習プリント 発表</p>
4	<p>1 班ごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「根拠・理由・主張」が明らかであったかについてお互いに評価し合う。</li> </ul> <p>2 今回の学習を通して新たに気付いたことや、学んだことを書く。</p>	<p>ロジカルシンキングの視点に立ってお互いの文を評価し合うことで、自分の考えが伝わるとはどのような文章なのか振り返ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジカルシンキングチェックシートを元にお互いに評価し合わせる。</li> <li>・これまでにない着眼点を得て、自らの生活に生かせそうな点があったか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの生活に生かせそうな新たな気づきについて書くことができる。</li> </ul> <p>[学]:学習プリント</p>

(1) 本時の指導観

前時までに生徒は、筆者が挙げる3つの具体例について、ロジカルシンキングシートを使って分析した上で、身の回りで最も「便利」なものについて共通認識を図っている。そこで本時は、前時で挙げたインターネットについて、筆者が述べる視点(図1②)に沿って、2つのグループ(「便利」と「不便」)に分かれて分析する。さらに、「便利」と「不便」のそれぞれの良い面と悪い面について、ロジカルシンキングシートを活用して文章化することができるようにする。

(2) 本時の主眼

「根拠・理由・主張」が明確な文章を書くことができる。

(3) 準備

学習プリント、黒板掲示、タブレット

(4) 展開

段階	学習活動・内容	具体的な支援	評価の観点(方法)	形態	配時
つかむ	1.本時学習のめあてをつかむ。 (1)前時の復習をする。 ・前時のロジカルシンキングシートの確認 ・身の回りで最も「便利」なもの確認 (2)めあての確認を行う。	○前時の内容を想起させるために、前時のロジカルシンキングシートとピラミッドチャートを提示する。		全	5
	「便利」と「不便」のそれぞれの良い面と悪い面について、ロジカルシンキングシートを使って文章にしよう。				
さぐる	2.前時で挙げた「便利」なものについて、筆者が述べる視点(図1②)に沿って、2つのグループ(「便利」と「不便」)に分かれて分析する。 ・それがああることで、何が便利になるのか、またその良い面と悪い面について ・それがないと、何が不便になるのか、またその良い面と悪い面について	○「便利」なものがあることで、恩恵を受ける一方でどのようなデメリットが生じているのか考えさせる。 ○「便利」なものなかったとしたら、どのような生活をするか想像させる。		個班	10 5
深める	3.「便利」と「不便」のそれぞれの良い面と悪い面について、ロジカルシンキングシートを使って班で協力して文章化する。 ・根拠に関しては、タブレットを使ってデータや調査結果を引用する。 【便利の悪い面】 ・頼りすぎて自分で考えなくなる。 ・壊れたら何もできなくなる。 ・地球環境に悪い。 【不便の良い面】 ・自分で考えるようになり、工夫する。 ・環境に優しい生活を送ることができる。	○文章を考える人、根拠を調べる人等、班の中で役割分担をさせる。 ○引用に関しては、引用元を明らかにさせる。 ○理由付けとして必ず経験したことを実例として挙げさせる。	・自分たちで主張を練り上げ、「根拠」と「理由付け」を明らかにした文章を書くことができる。 [思]:学習プリント発表	班	25
まとめる	4.班で出来上がった文章を推敲し、「根拠・理由・主張」が明確な文章となっているか見直す。			班	5

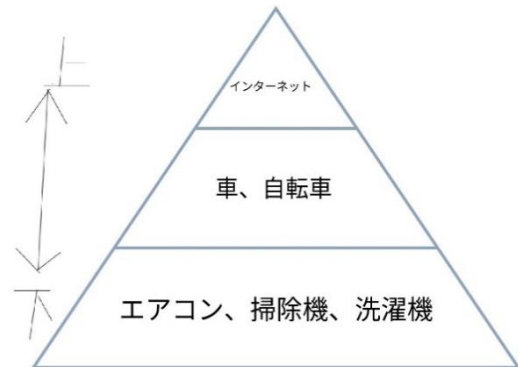
## 6 活動の実際

### 第1次 つかむ段階

この段階では、文章の全体構造をつかむことをねらいとした。筆者の新しい発想が書かれている段落や、キーワードである、「不利益」について具体例が書かれている段落など、段落ごとに書かれていることを整理しながら、筆者の論の組み立て方について考えた。

### 第2次 さぐる段階

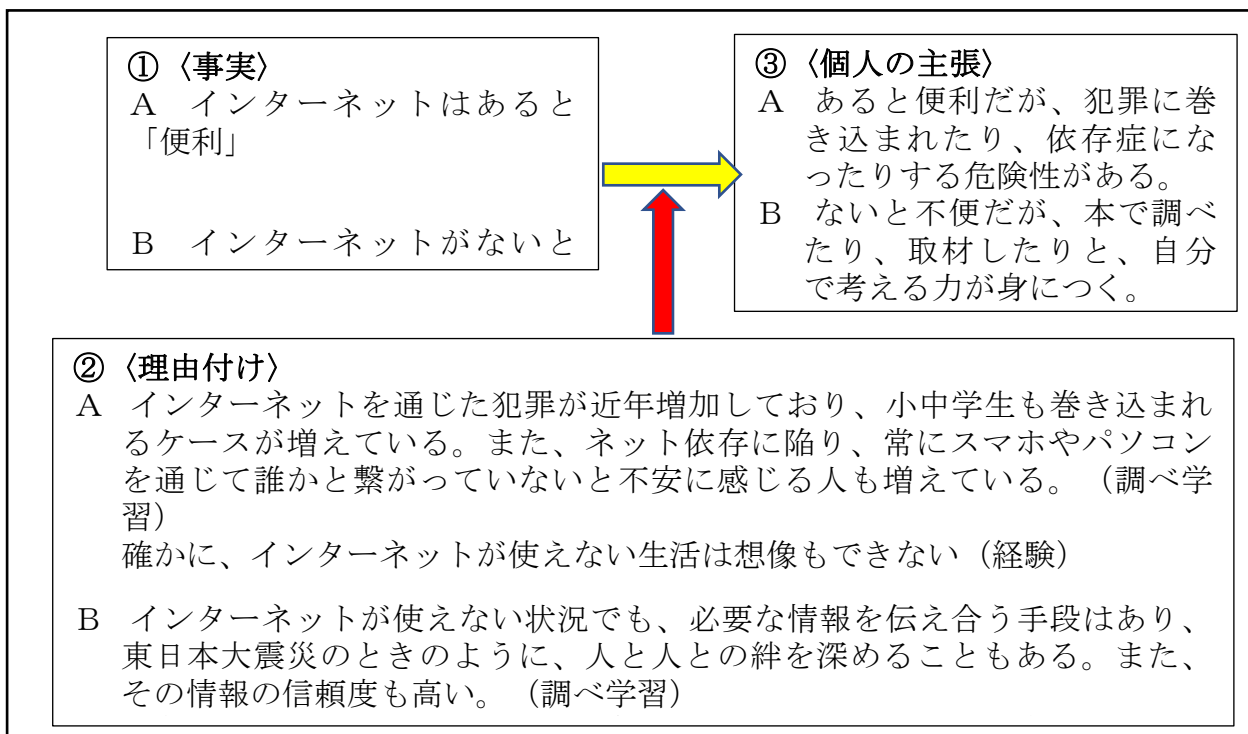
この段階では、「不利益」と「便利悪」について文章を書くために、今や自分たちの生活に欠かせない身のまわりの「便利なもの」について一般化して考えることをねらいとした。筆者が挙げる3つの具体例をロジカルシンキングシートを活用しながら分析した上で、身のまわりの「便利なもの」についてピラミッドチャート【資料1】を使って構造化する活動を行った。



【資料1 生徒が作ったチャート】

### 第3次 深める段階

この段階では、前時で挙げたインターネットについて「不利益」と「便利悪」を考え、【資料2】のように、ロジカルシンキングシートを活用しながら、「根拠」についてインターネットで調べて書き、「理由付け」を明らかにした文章を書く活動を行った。



【資料2 ロジカルシンキングシート】

## 7 成果と課題

○今回のように、「主張」を裏付ける根拠をインターネットで調べて書き、「根拠」をさらに強化し、「主張」をより確かなものとする「理由付け」を体験から書くようにすると、普段なかなか文章が書けない生徒も書くことができた。

●最後の文章をまとめるところまで時間内に書き上げることができた子どもは6割程度だったので、ロジカルシンキングシートを活用して書く活動のさらなる発展と継続が必要である。

と	行	心	面	私
不	動	と	も	は
便	か	れ	あ	ス
に	下	は	な	マ
か	ま	か	な	ホ
良	の	？	ス	と
い	下	た	マ	も
面	私	リ	ホ	？
が	は	す	と	て
あ	ス	る	も	い
る	マ	か	？	か
と	ホ	ス	て	は
思	と	マ	い	い
い	持	ホ	は	と
ま	？	に	い	不
す	て	は	と	便
	行	よ	れ	に
	か	ら	人	が
	は	す	ら	良
	い		く	い

が	ホ	と	だ	私
あり	が	の	が	は
楽	な	出	良	は
し	く	会	い	行
い	て	い	所	に
も	大	が	も	ス
の	変	あ	あ	マ
だ	い	る	る	ホ
？	に	か	と	を
た	か	ら	思	持
と	？	だ	う	つ
言	そ	実	な	？
っ	の	際	ぜ	か
て	分	私	な	な
い	人	の	ら	い
に	と	父	様	の
か	出	は	々	は
り	会	ス	々	不
ん	い	マ	々	便
じ			々	人

主張

根拠

理由づけ

夏休みの思い出

課題まっか、た。

たちあらいと合同チームに行、た



と	行	心	面	私
不	動	と	も	は
便	か	れ	あ	ス
に	下	は	な	マ
か	ま	か	な	ホ
良	の	？	ス	と
い	下	た	マ	も
面	私	リ	ホ	？
が	は	す	と	て
あ	ス	る	も	い
る	マ	か	？	か
と	ホ	ス	て	は
思	と	マ	い	い
い	持	ホ	は	と
ま	？	に	い	不
す	て	は	と	便
	行	よ	れ	に
	か	ら	人	が
	は	す	ら	良
	い		く	い